

ステップ アップ  
『日進月歩』

努力することをやめない。  
神様は、努力が好きなのです。

パリューゴルフ  
**VALUE GOLF**  
www.valuegolf.co.jp

『ゆとり世代が席巻するスポーツ界』

連日のように、アメリカ大リーグの大谷翔平選手の活躍が報道されている。ロサンゼルス・エンゼルスに移籍する前から、大谷は「100年に1人出るかどうかの選手」と言われ、アメリカのメディアでは「現代のベープ・ルース」と特集が組まれるほどだ。

メジャーデビュー後、想像をはるかに超える成績と、彼の人間性で、全米メディアに大絶賛されている。アメリカ人が「野球の神様」と愛してやまないベープ・ルースに称されることで、どれほどメジャーリーグで愛されているかわかる。

「羽生・大谷世代」というのは、スポーツ界でも優秀な選手が多いことで有名である。2016年のリオ五輪では、男子400メートル個人メドレーで金メダルの水泳の萩野公介選手、そして、瀬戸大也選手。同じく金メダルに輝いたレスリング女子の川井梨紗子選手に土性沙羅選手、柔道男子のベイカー茉秋選手、平昌五輪で3色のメダルを獲得したスピードスケートの高木美帆選手も1994年生まれである。

一般的に、彼らの世代は、「集団行動よりもプライベート優先」、「コミュニケーションが取りにくい」などと批判されることの多い「ゆとり世代」と呼ばれる年代である。しかし、日本のスポーツ史に残る黄金世代を形成し、「羽生・

大谷世代」は世界を席巻するスポーツ選手となっている。

ゴルフ界を見てみると、松山選手、石川遼選手がその世代に入る。小さい頃に、タイガーに憧れてゴルフを始め、そしてタイガーの活躍を見て育ってきた世代でもあり、「ゆとり教育」は、悪い面ばかりが目立ちがちであるが、学校教育以外の時間が充実していたからこそ、彼らのような基礎のしっかりとした、優秀な選手が誕生したことを忘れてはならない。

ビジネスの世界でも、「ゆとり世代」が今後、ますます活躍してくるだろう。世代交代と言わず、ゴルフのように年齢に関係なく、同じ土俵に立ち、力を発揮し、戦うことができることを願っている。



戸張 捷 Sho Tobari

1945年、東京生まれ。  
高校からゴルフを始め、3年で全日本ジュニア3位、大学4年で日本アマ9位。住友ゴム工業（現SRIスポーツ）に入社後、株式会社ダンロップスポーツエンタープライズへ出向。トーナメントディレクター、プロデューサーとして日本ゴルフ界に貢献した。現在は、ゴルフキャスターとして活躍するほか、ゴルフトーナメントやイベントのプロデュース、コンサルティングなども手掛けている。